

平成25年度 燕・西蒲原郡の研究活動報告

会長 海藤 英紀
副会長 齋藤 憲
鈴木 正尚
坂井 直樹
評議員 海藤 英紀

1 研究活動の方針

- (1) 学力調査や学習指導改善調査などの結果から、活用力や表現力を高める研究を推進する。
- (2) 会員相互で研究を深め、本郡市小学校教育の振興に寄与する。
- (3) 各研究部の特色を生かした組織的・主体的研究の推進に努める。

2 研究活動の実際

- (1) 郡市小教研総会の開催<4月17日(水) 会場:弥彦小学校>

- (2) 各研究部の活動(「郡市小教研の日」の活動)

各教科、道徳、特別活動、総合的な学習、教育課程、生徒指導、英語活動、特別支援、保健、事務、食育の19研究部を設置して取り組んでいる。各研究部では、研究主題、研究内容、研究方法等を明確にした年間計画に基づき、授業研究、講演会、実技研修、現地視察等会員のニーズを生かした活動を行っている。

- (3) 教育講演会の開催<8月21日(水) 会場:燕市文化会館>

京都女子大学准教授の大谷 麻美氏を迎え、「日本と英語圏における異文化理解の基礎知識」をテーマとして、講演会を行った。大谷氏は、「日本語と英語のコミュニケーションがどのように異なるのか、その相違がどのような誤解や問題を引き起こすのか」という観点での話であった。

「言語やコミュニケーションは、話し手の文化や価値観と密接に結びついている。その文化への理解なくして外国語学習はもとより、運用はあり得ない。その文化への「気づき」を促すことが、自文化への気づきともなる」と述べている。

「普段の指導や子どもとのやりとりが、まさに日本文化の枠組みの中で行っていたこと、アメリカの文化とは違っていることが分かった。その文化の違いを知った上で、自分自身も外国の人と関わっていきたい。」という感想が聞かれた。

- (4) 研究紀要の発行

各部の実践活動、研究発表校の研究内容の概要を記録として残し、研究活動の継続・充実に生かす。研究紀要第8号を刊行した。

3 郡市小教研が関係した研究会

燕市西蒲原郡小学校教育研究会主催、学習指導研究会が11月13日(水)、16か校を4ブロックに分けて、研究発表及び授業公開を行った。

弥彦小学校:「かかわり合い、自らの考えを深める子どもの育成」

～「子ども一人一人の学びを保障する」ための授業改善を目指して～

吉田小学校:「考えや思いを伝え合い、学びを深める子どもの育成」

吉田北小学校:「自分の考えをもち、進んで表現する子どもの育成」

～話し合い活動を取り入れながら～

島上小学校:「進んで問題解決に取り組む子どもの育成」

～書く活動を通して活用力を育てる指導過程の工夫～